

平成21年3月期 第3四半期決算短信

平成21年2月10日

上場会社名 株式会社 栄電子
 コード番号 7567 URL <http://www.sakae-denshi.com>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 染谷 英雄
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 経理部長 (氏名) 菊池 隆之
 四半期報告書提出予定日 平成21年2月12日

上場取引所 JQ

TEL 03-6385-7240

(百万円未満切捨て)

1. 平成21年3月期第3四半期の連結業績(平成20年4月1日～平成20年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年3月期第3四半期	4,337	—	△35	—	△38	—	△68	—
20年3月期第3四半期	5,924	△18.3	155	△62.9	168	△62.7	90	△65.5

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
21年3月期第3四半期	△13.43	—
20年3月期第3四半期	17.77	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	円 銭	百万円	円 銭	%	円 銭
21年3月期第3四半期	6,671	—	2,730	—	40.9	537.09
20年3月期	7,326	—	2,942	—	40.1	578.70

(参考) 自己資本 21年3月期第3四半期 2,730百万円 20年3月期 2,942百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
20年3月期	—	—	—	15.00	15.00
21年3月期	—	—	—	—	—
21年3月期(予想)	—	—	—	10.00	10.00

(注)配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成21年3月期の連結業績予想(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,600	△26.1	△85	—	△95	—	△140	—	△27.54

(注)連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1)期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 有

新規 一社(社名) 除外 1社(社名 酒東不動産管理株式会社)

(2)簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注)詳細は2ページ定性的情報・財務諸表 4.その他をご覧ください

(3)四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

(注)詳細は3ページ定性的情報・財務諸表 4.その他をご覧ください

(4)発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 21年3月期第3四半期 5,090,000株 20年3月期 5,090,000株

② 期末自己株式数 21年3月期第3四半期 6,525株 20年3月期 5,625株

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 21年3月期第3四半期 5,083,773株 20年3月期第3四半期 5,085,275株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他の特記事項

1.平成21年3月期の業績予想は、平成21年1月8日に公表いたしました業績予想数値より変更しておりません。

2.上記業績予想の内容は、発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、当社グループを取り巻く経済環境、市場動向等様々な要因により、予想数値と異なる結果となる場合があります。

3.当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、米国のサブプライムローン問題を発端とする金融危機が世界的な金融危機となり実体経済に悪影響を及ぼしたことから、国内における企業収益の悪化や失業者の増加など景況感が一挙に悪化し深刻化の様相を呈する状況となりました。

とりわけ当社グループの主力市場である半導体製造装置関連分野においては、半導体市況の悪化、設備抑制による需要の減少が顕著となっております。これによる電子部品業界への影響は多大であり、急激な受注の冷え込みなど環境悪化により、当社グループをとりまく環境はより厳しいものとなっております。

当社グループにおきましては、営業施策として掲げ推進しております主力取扱メーカーの取扱い品目の拡大、販売連携及び地域営業戦力の強化、経費見直しによるコストダウンの実現等を実行しておりますものの、売上高の減少に伴う収益の悪化をカバーするまでに至らない状況にあります。

以上の結果、当社グループの当第3四半期連結累計期間の経営成績は、売上高4,337百万円、営業損失35百万円、経常損失38百万円、当四半期純損失68百万円という結果になりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

(1) 財政状態の変動状況

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、6,671百万円と前連結会計年度末に比べ654百万円減少いたしました。流動資産は、前連結会計年度末に比べ883百万円減少の3,530百万円となりました。主に現金及び預金が418百万円減少したこと及び受取手形及び売掛金が457百万円減少したことによるものです。固定資産は主に新社屋建設に伴う建物及び構築物等の増加により228百万円増加いたしました。

負債は、3,941百万円と前連結会計年度末に比べ442百万円減少いたしました。主に支払手形及び買掛金が前連結会計年度末に比べ349百万円減少したことによるものです。

純資産は、配当金の支払や有価証券評価差額金の減少などにより前連結会計年度末に比べ212百万円減少し、2,730百万円となりました。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結会計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という)は、前連結会計年度末に比べ418百万円減少し、1,388百万円となりました。

当第3四半期連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、65百万円となりました。これは主要因として売上債権の減少457百万円、仕入債務の減少349百万円等によるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果支出した資金は、369百万円となりました。これは主要因として有形固定資産の取得347百万円によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果支出した資金は、115百万円となりました。これは主要因として短期借入による収入157百万円、短期借入金の返済による支出139百万円、長期借入金の返済による支出64百万円、及び配当金の支払76百万円によるものです。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

平成21年3月期の業績予想は、平成21年1月8日に公表いたしました業績予想数値より変更しておりません。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

平成20年12月2日付けで、当社の連結子会社である酒東不動産管理株式会社を吸収合併したため、連結の範囲から除外しております。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

当第3四半期連結会計期間末の棚卸資産の算出に関しては、実地棚卸を省略し、当第2四半期連結会計期間末の実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算定する方法によっております。

また、棚卸資産の簿価切下げに関しては、収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却価額を見積り、簿価切下げを行う方法によっております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

② 「棚卸資産の評価に関する会計基準」の適用

通常の販売目的で保有するたな卸資産については、従来、移動平均法による原価法によっておりましたが、第1四半期連結会計期間より「棚卸資産の評価に関する会計基準」(企業会計基準第9号 平成18年7月5日)が適用されたことに伴い、移動平均法による原価法(貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切下げの方法)により算定しております。

これにより、当第3四半期連結累計期間の営業損失、経常損失及び税金等調整前四半期純損失はそれぞれ9百万円増加しております。

5. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成20年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,688,522	2,107,497
受取手形及び売掛金	1,381,864	1,839,611
商品	335,947	411,196
繰延税金資産	70,408	43,808
その他	58,007	17,169
貸倒引当金	△3,900	△4,726
流動資産合計	3,530,849	4,414,556
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	782,938	252,540
土地	1,170,924	1,170,924
その他(純額)	26,478	235,601
有形固定資産合計	1,980,341	1,659,065
無形固定資産		
投資その他の資産	107,093	96,707
投資有価証券	312,468	447,363
保険積立金	440,772	430,801
繰延税金資産	236,555	196,158
その他	98,390	119,690
貸倒引当金	△35,040	△37,975
投資その他の資産合計	1,053,146	1,156,037
固定資産合計	3,140,581	2,911,811
資産合計	6,671,431	7,326,367
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,295,648	1,644,656
短期借入金	1,000,218	982,387
1年内返済予定の長期借入金	96,992	98,040
未払法人税等	4,152	52,721
その他	163,502	164,321
流動負債合計	2,560,514	2,942,126
固定負債		
長期借入金	439,112	503,440
退職給付引当金	31,916	31,560
長期未払金	909,345	906,621
その他	282	282
固定負債合計	1,380,656	1,441,904
負債合計	3,941,170	4,384,030

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成20年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	500,000	500,000
資本剰余金	372,500	372,500
利益剰余金	1,814,491	1,959,037
自己株式	△3,496	△3,240
株主資本合計	2,683,494	2,828,297
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	52,044	119,160
繰延ヘッジ損益	△5,278	△5,120
評価・換算差額等合計	46,766	114,040
純資産合計	2,730,260	2,942,337
負債純資産合計	6,671,431	7,326,367

(2) 四半期連結損益計算書
(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	当第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)
売上高	4,337,625
売上原価	3,499,363
売上総利益	838,262
販売費及び一般管理費	873,827
営業損失(△)	△35,565
営業外収益	
受取利息	1,740
受取配当金	6,467
不動産賃貸料	3,406
仕入割引	6,340
その他	8,149
営業外収益合計	26,104
営業外費用	
支払利息	22,892
不動産賃貸費用	3,150
その他	2,819
営業外費用合計	28,863
経常損失(△)	△38,324
特別損失	
投資有価証券評価損	22,721
固定資産除却損	2,059
貸倒引当金繰入額	15,852
特別損失合計	40,633
税金等調整前四半期純損失(△)	△78,958
法人税、住民税及び事業税	10,165
法人税等調整額	△20,843
法人税等合計	△10,677
四半期純損失(△)	△68,280

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	当第3四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純損失(△)	△78,958
減価償却費	15,942
のれん償却額	3,132
貸倒引当金の増減額(△は減少)	11,848
退職給付引当金の増減額(△は減少)	355
長期未払金の増減額(△は減少)	13,650
投資有価証券評価損益(△は益)	22,721
受取利息及び受取配当金	△8,207
支払利息	22,892
売上債権の増減額(△は増加)	457,746
たな卸資産の増減額(△は増加)	75,248
仕入債務の増減額(△は減少)	△349,007
未払消費税等の増減額(△は減少)	△7,241
その他の流動資産の増減額(△は増加)	△38,556
その他の流動負債の増減額(△は減少)	3,327
その他	△6,688
小計	138,206
利息及び配当金の受取額	9,015
利息の支払額	△25,609
法人税等の支払額	△56,224
営業活動によるキャッシュ・フロー	65,388
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△347,402
投資有価証券の取得による支出	△989
保険積立金の積立による支出	△9,971
長期貸付金の回収による収入	1,970
その他	△12,866
投資活動によるキャッシュ・フロー	△369,259
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入れによる収入	157,218
短期借入金の返済による支出	△139,387
長期借入金の返済による支出	△64,544
配当金の支払額	△76,240
その他	7,849
財務活動によるキャッシュ・フロー	△115,103
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△418,975
現金及び現金同等物の期首残高	1,807,497
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,388,522

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

[事業の種類別セグメント情報]

当第3四半期連結累計期間(自平成20年4月1日至平成20年12月31日)

当社グループは、産業用一般電子部品・電子機器の販売を行っており、事業区分としては単一のセグメントであるため、該当事項はありません。

[所在地別セグメント情報]

当第3四半期連結累計期間(自平成20年4月1日至平成20年12月31日)

本邦以外の国又は地域に所在する連結子会社及び重要な在外支店がないため、該当事項はありません。

[海外売上高]

当第3四半期連結累計期間(自平成20年4月1日至平成20年12月31日)

海外売上高は、連結売上高の10%未満であるため、海外売上高の記載を省略しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。